- テクマトリックス Redmine クラウドサービス利用規約
- テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)利用規約

テクマトリックス Redmine クラウドサービス利用規約

テクマトリックス株式会社(以下「弊社」といいます)は、「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」(以下「本サービス」といいます)に関して、以下の通り規約(以下「本規約」といいます)を定めます。

第一章　総則

第 1 条(規約の適用)

1. 本規約は、本サービスの利用に関し、本規約第 3 条(定義)に定義する契約者および利用者に適用されるものとします。
2. 弊社は、今後提供する本サービスのサービス毎に個別の特約を定める場合があり、当該特約は本規約の一部を構成します。本規約と当該特約が異なる場合には、当該特約が優先するものとします。

第 2 条(規約の変更)

弊社は、契約者および利用者の承諾を得ることなく、弊社が適当と判断する方法でユーザー登録者に通知することにより、本規約を変更できるものとします。この場合、料金その他の本サービス提供条件は変更後の本規約によります。

第 3 条(定義)

本規約においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

1. Redmine：プロジェクト管理 Web アプリケーション Redmine、および、ファーエンドテクノロジー株式会社が開発した Redmine 互換の RedMica
2. Lychee Redmine：株式会社アジャイルウェアが開発し、弊社が提供する Lychee Redmine
3. Redmine プラグイン：テクマトリックス Redmine クラウドにインストールされている無償の Redmine プラグイン
4. テクマトリックス Redmine クラウドサービス：本条第 1 項に定義されている Redmine、本条第 2 項に定義されている Lychee Redmine、本条第 3 項に定義されている Redmine プラグインのホスティングサービス
5. 契約者：本サービスの利用申し込みを行ない、利用契約を締結した者(契約時に指定した会社名・団体名として登録された法人)
6. 管理責任者：利用者の一人であり、契約者により指名され、サブドメイン名、利用者のログイン名(メールアドレス)およびパスワードの管理を行う者
7. 利用者：管理責任者により登録され本サービスを利用する者
8. ユーザー登録者：利用者の一人であり、契約者により指定された本サービスに関する通知を受ける者
9. 利用契約：弊社から本サービスの提供を受けるための契約
10. ログイン名：利用者が本サービスを利用するための ID
11. 利用料金：本サービスを利用するための料金、および、その他の利用料金

第 4 条(Redmine の利用)

1. 利用者は、本サービスを Web サイト上のサービスとして使用する限定的、非独占的、譲渡不可、サブライセンス不可の権利が付与されます。
2. 本サービスで提供される画像、文章等の知的財産権ならびに著作権は、それぞれの提供元に帰属します。利用者の有する権利は、前項のみであり、本サービスで提供される画像、文章等の提供元、ならびに弊社の他の知的財産に対する権利は付与されません。これは、利用者が本サービスで提供されるもののコピーを作成する権利を持たないことを意味します。また、利用者は、プログラムコードを他の形式のコードに変換(逆コンパイル)したり、本サービスで提供されるものを解析しソースコードを明らかにする(リバースエンジニアリング)することは認められていません。
3. 利用者は、本サービスで提供されるものの著作権表示、シリアル番号、その他の機能を削除または変更することは認められていません。
4. 本サービスの利用期間中、本サービスに保存した情報に対する利用者の所有権が失われることはありません。利用者が、本契約に従わない場合および本サービスの契約が終了した場合は、弊社は当該情報を削除することができるものとします。

第二章　サービスの種類

第 5 条(「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」の種類および内容等)

1. 本サービスの種類および内容は、別表 1 記載の通りとします。
2. 本サービスに保存できるストレージ容量の上限は、別表 2 記載の通りとします。
3. 弊社は、事由の如何を問わず、本サービスの内容の一部または全部の変更、追加および廃止をすることができます。

第 6 条(利用可能時間)

本サービスの利用可能時間は、全日 0 時から 24 時までとします。ただし、第 16 条(サービス提供の一時停止)に定める場合および第 17 条(サービス提供の停止)に定める場合を除くものとします。

第 7 条(保守サービス)

1. 本サービスの利用契約期間中、本サービスの利用に関する問い合わせに対し、「テクマトリックス Redmine クラウドサービス保守サービスガイド」に記載されているサポートサービスを提供します。
2. 保守サービスの対象は、第 3 条(定義)の第 1 項と第 2 項に定義されている Redmine と Lychee Redmine のみです。第 3 条(定義)の第 3 項に定義されている Redmine プラグインは、保守サービスの対象には含まれません。
3. 弊社は、事由の如何を問わず、保守サービスの一部または全部の変更、追加および廃止をすることができます。

第三章　契約

第 8 条(利用契約の方法)

1. 本サービスは、契約者および利用者のみが利用することができるものとします。
2. 契約者は、本規約の内容を確認し、承諾した上で、本サービスを注文するものとします。
3. 本サービスの注文書を受領後、サービス開始通知、またはテクマトリックス Redmine クラウドサービス証書(以下、サービス証書とする)の送付をもって、利用契約が成立したものとします。
4. 契約者は、本規約を利用者に遵守させ、または、管理責任者をして利用者に遵守せしめるものとします。万一利用者が本規約に違反した場合、弊社は、契約者に催告することなく直ちに利用契約を解約することができるものとします。

第 9 条(利用契約期間)

1. 本サービスの利用契約期間は、サービス証書に記載された期間とします。
2. 利用契約期間終了日の 90 日前までに、契約者または弊社が相手方に対し、本利用契約の更新を望まない旨を通知しない限り、利用契約期間は自動的に更新されるものとし、以後同様とします。

第 10 条(利用契約の変更)

1. 本サービス利用契約期間中、契約者は本サービスの利用契約内容の変更を行うことはできません。
2. 前項の定めに関わらず、契約者が本サービスのユーザー数を追加する、あるいは、利用ストレージ容量の上限を上げる、または、Redmine プラグインを利用するといった利用内容を変更する場合、契約者は弊社所定の注文書に必要事項を記入し、弊社に注文するものとします。
3. 弊社は、注文書の受領後、速やかにサービスの利用内容変更申し込みの審査を行い、申し込みを承諾する場合、契約者に対して、サービス開始通知、またはサービス証書の送付をもって、利用契約の変更が成立したものとします。

第 11 条(管理責任者の役割)

1. 契約者は、管理責任者およびユーザー登録者を定めるものとします。
2. 管理責任者は、利用者のパスワードの払い出し、追加登録および削除を行うものとします。
3. ユーザー登録者は、弊社からの通知内容について自己の責任において契約者および利用者に周知するものとします。

第 12 条(サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの管理)

1. 管理責任者は、サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)、および払い出しを行ったパスワードの管理責任を負うものとします。
2. 利用者は、サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの第三者利用、貸与、譲渡、名義変更、売買、質入、開示等をしてはならないものとします。ただし、契約者が本サービスを利用するプロジェクトに従事する取引先等に本サービスを利用させる場合は除きます。
3. サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等による損害の責任は契約者および利用者が負うものとし、弊社は一切責任を負いません。

第 13 条(権利の譲渡等の禁止)

契約者および利用者は、本サービスの提供を受ける権利を第三者に譲渡し、または承継させることができません。

第 14 条(契約者が行う契約の解約)

契約者は、利用契約期間中に利用契約を解約することができます。解約する場合、支払った利用料金の返金はできません。

第 15 条(弊社が行う契約の解約)

1. 契約者または利用者が以下の各号の一に該当する場合、弊社は、事前に催告することなく、直ちに当該契約者および利用者への本サービスの提供を停止することができるものとします。
   (1) 第 21 条(禁止事項)の行為を行った場合
   (2) 弊社への申告、届出内容に虚偽があった場合
   (3) 第 17 条(サービス提供の停止)の規定により本サービスの利用停止をされた契約者が、その事実を解消しない場合
   (4) その他、本規約に違反した場合
   (5) その他、契約者および利用者として不適切と弊社が判断した場合
   (6) 契約者が法人の場合で次の各号に該当する場合
      (ｱ) 実際に従業員、事務所等が存在せず、業務が停止していると認められるとき
      (ｲ) 監督庁より営業の取り消し、または停止等の処分を受けたとき
      (ｳ) 手形・小切手が不渡りになったとき
      (ｴ) 破産、民事再生または会社更生法の申し立てがあったとき
      (ｵ) 財産状況が悪化し、またはその恐れが認められる相当の理由があるとき
      (ｶ) 解散または事業が廃止になったとき
2. 前項の規定により利用契約が解約された場合、契約者は、その利用中に係る一切の債務につき当然に期限の利益を喪失し、残存債務の全額を直ちに一括して支払うものとします。なお、弊社は、既に支払われた利用料金を返金しなくて良いものとします。

第四章　利用中止および利用停止

第 16 条(サービス提供の一時停止)

1. 弊社は、次の場合には、本サービスの提供を一時停止することがあります。
   (1) 弊社のシステム保守を定期的にまたは緊急に行う場合
   (2) 弊社の本サービス用設備の保守上または工事上やむを得ない場合
   (3) 天災、事変、その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがある場合
   (4) 弊社が設置する電気通信設備の障害その他やむを得ない事由が生じた場合
   (5) 弊社が本サービスの運用の全部または一部を停止することが望ましいと判断した場合
2. 弊社は前項に基づく本サービスの提供の停止によって生じた契約者、利用者および第三者の損害につき一切責任を負いません。
3. 弊社は、第 1 項の規定により本サービスの利用を停止するときは、あらかじめその旨をユーザー登録者に通知します。ただし、緊急または、やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 17 条(サービス提供の停止)

1. 弊社は、契約者が次のいずれかに該当する場合は、本サービスの利用を停止することがあります。この場合、管理責任者により登録された全ての利用者に対し本サービスの利用を停止します。
   (1) 第 21 条(禁止事項)に記載される行為を行った場合
   (2) 支払期日を経過してもなお利用料金を支払わなかった場合
   (3) その他、本規約に違反した場合
   (4) その他、弊社が不適当と判断する行為を行った場合
2. 弊社は、前項の規定により本サービスの利用停止をするときは、あらかじめその理由、利用停止をする日および期間をユーザー登録者に通知します。ただし、緊急または、やむを得ない場合は、この限りではありません。

第五章　利用料金

第 18 条(利用料金)

1. 契約者は、本サービスの利用において次の料金を支払うものとします。
   (1) 利用料金
   本サービスを利用するに当たり必要となります。
   (2) その他特に定められたもの
2. 利用料金の内容は、注文書に記載した内容となります。ただし、弊社は、物価変動や社会情勢等の変化により利用料金を改定する場合があります。この場合、弊社は第 22 条(契約者および利用者への通知)にもとづきユーザー登録者に通知し、次の契約の更新から新料金が適用されるものとします。
3. 本サービスの利用にあたっては、契約者のすべての利用者について、同一の利用プランが適用されるものとし、利用者毎に異なる利用プランを設定することはできないものとします。
4. 契約者は、定められた利用料金を、請求書に記載された期日までに、弊社指定の方法で支払うものとします。
5. 契約者は、第 17 条(サービス提供の停止)にもとづき本サービスの停止が行われた期間であっても、利用料金の支払いを免れることはできません。
6. 第 16 条(サービス提供の一時停止)にもとづき本サービスの提供が制限･停止されている期間の利用料金は、第 29 条第 1 項にもとづき取り扱います。
7. 不正な方法により利用料金の支払いを免れたことが判明した場合、弊社は契約者に対し本サービスや有償サービスの利用停止処分の上、当該利用料金の 200%に相当する損害賠償の請求を行えるものとします。

第 19 条(利用料金の支払い)

1. 弊社は、契約者に対し、注文書にもとづいた利用料金を弊社が定める書面(以下、「請求書」といいます)にて請求します。
2. 契約者は、弊社が請求書にて請求する利用料金を弊社と別段の取り決めがない場合、請求書に記載された支払い条件にて弊社指定銀行口座に現金にて振り込む事とします。なお、振込み手数料は契約者の負担とします。

第六章　利用者の注意

第 20 条(利用者の責任)

1. 契約者および利用者は、本規約、別に定める特約およびその他弊社が随時通知する内容に従い、本サービスを利用するものとします。
2. 契約者および利用者は、本サービスを通じて発信または受信する情報につき一切の責任を負うものとし、弊社に何等の迷惑または損害を与えないものとします。
3. 本サービスの利用に関連して、契約者および利用者が他の利用者もしくは第三者に対して損害を与えた場合、または、契約者および利用者が他の利用者もしくは第三者と紛争が生じた場合、当該契約者または利用者は自己の費用と責任で解決するものとし、弊社に何等の迷惑または損害を与えないものとします。

第 21 条(禁止事項)

契約者および利用者は、本サービスの利用に当たって次の各号に定める行為を行ってはならないものとします。

(1) 本契約に違反する行為
(2) 別表 2 に記載されたストレージ容量、または、注文した追加ストレージ容量を超えて、データを保存している場合
(3) 別紙テクマトリックス Redmine クラウドサービス仕様書の内容から逸脱する行為
(4) 他の利用者、第三者もしくは弊社の知的財産権、その他の権利を侵害する行為、また侵害するおそれのある行為
(5) 他の利用者、第三者もしくは弊社の財産もしくはプライバシーを侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
(6) 他の利用者、第三者もしくは弊社に不利益もしくは損害を与える行為、またはそれらのおそれのある行為
(7) 犯罪的行為もしくは犯罪的行為に結びつく行為、またはそのおそれのある行為
(8) 本サービスを、第三者に対する研修、商用タイムシェアリング、または有償目的で使用する行為
(9) 本サービスの運営を妨げる行為
(10) 本サービスの信用を失墜させる行為
(11) サブドメイン名、ログイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードを不正に使用する行為
(12) コンピューターウィルス等有害なプログラムを本サービスを通じて、または本サービスに関連して使用、もしくは提供する行為、チェーンメール・スパムメール等の送信を目的とする行為、ならびに本サービスに著しく負荷のかかる行為
(13) 無限連鎖講・ネットワークビジネス等の勧誘行為、ならびに個人情報の収集行為
(14) 差別・誹謗中傷、名誉又は信用の毀損につながる行為、ならびに人種的・民族的・宗教的に不快感を与える行為
(15) その他、法令に違反する、または違反するおそれのある行為
(16) その他、弊社が不適切と判断する行為

第 22 条(契約者および利用者への通知)

1. 弊社から契約者および利用者への通知は、別段の定めのない限り、ユーザー登録者を通じて行われるものとします。
2. 弊社は、次の各号に定める事由が生じた場合、変更を実施する 60 日前までに、その旨をユーザー登録者に電子メールにて通知します。ユーザー登録者への通知をもって契約者および利用者に通知したものとみなします。
   (1) 本規約の変更
   (2) 特約の制定および変更
   (3) 利用料金の変更
   (4) 利用時間の変更
   (5) 本サービスの内容または提供条件の変更
   (6) 本サービスの保守サービスの内容の変更
3. 弊社から契約者および利用者への通知は、送信される電子メールがユーザー登録者の指定する電子メールアドレスのメールサーバーに記録された時点で効力を生じるものとします。

第 23 条(設備等の準備)

契約者および利用者は、通信機器、ソフトウェア、その他これらに付随して必要となる全ての機器の準備および回線利用契約の締結、インターネット接続サービスへの加入、その他、本サービスを利用するために必要な準備を、自己の費用と責任において行うものとします。

第 24 条(情報の削除)

1. 弊社は、利用者が本サービスに保存した情報等が、次の各号に該当すると判断した場合、ユーザー登録者に事前通知するとともに、当該情報を削除することができるものとします。
   (1) 第 21 条(禁止事項)の各号の禁止行為を行った場合
   (2) 本サービスの保守管理上必要であると弊社が判断した場合
   (3) その他、弊社が削除の必要があると判断した場合
2. 前項の規定にかかわらず、弊社は、情報等の削除義務を負うものではありません。
3. 弊社は、本条の規定に従い情報等を削除したこと、または情報等を削除しなかったこと、または情報等を削除しなかったことにより契約

者、利用者または第三者に発生した損害について一切責任を負いません。

第 25 条(情報の管理)

1. 弊社は本サービスの内容、および利用者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等いかなる保証も行いません。
2. 本サービスの提供、遅滞、変更、中止もしくは廃止、本サービスを通じて登録、提供される情報等の流出もしくは消失等、またはその他本サービスに関連して発生した契約者および利用者の損害について、弊社は本規約にて明示的に定める以外一切責任を負いません。

第 26 条(情報の利用)

弊社は、本サービスに関し契約者および利用者が本サービスに登録した情報(個人情報を含みます。)を、本サービスの適切な運用および改善のため利用するほか、特定の個人を識別できないよう加工したうえで弊社の新規サービス・製品の開発のためのデータ分析のために必要な範囲で使用する場合があります。契約者および利用者は、弊社によるこれらの使用を許諾するものとします。なお、個人情報については、弊社の個人情報保護方針(セキュリティポリシー)に則って取り扱うものとします。

第七章　保守

第 27 条(弊社の維持責任)

1. Redmine、Lychee Redmine、Redmine プラグイン、および付随的技術を設定し、利用者がインターネット上からアクセスし、本サービスを利用できるよう維持します。
2. 本サービスを構成する弊社管理下に存在するインターネットサーバーおよびソフトウェアの維持管理と保管される利用者のデータのバックアップを行います。
3. 弊社の設備もしくはサービスに障害を生じ、またはその設備が損傷したことを弊社が知ったときは速やかにその設備を修理・復旧するものとします。

第 28 条(契約者および利用者の維持責任)

1. 契約者および利用者は、本サービスの提供に支障を来たさないために善良なる管理者の注意義務をもって利用者の端末設備を正常に稼動するように維持するものとします。
2. 本サービスの利用中に利用者が弊社の設備またはサービスに異常を発見したときは、利用者は利用者自身の設備等に故障がないことを予め確認のうえ、弊社に修理または復旧の旨連絡するものとします。

第八章　雑則

第 29 条(責任)

1. 弊社の責に帰すべき事由により利用者が本サービスを全く利用できない(弊社が本サービスを全く提供しない場合または弊社の設備の障害により利用者が本サービスを全く利用できない場合をいい、本規約第 16 条(サービス提供の一時停止)の定めに従って本サービスの提供を停止する場合を含まず、以下「利用不能」といいます)ために契約者および利用者に損害が発生した場合、利用者が利用不能となったことを弊社が知った時刻から起算して 24 時間以上利用不能の状態が継続したときに限り、現契約期間に対して支払われた利用料金の 1 日単価と利用不能日数の積を現契約の利用料金を上限として、利用不能となった期間の相当額を次契約の利用料金から差し引くものとします。
2. 弊社は、本規約に明示的に定める場合を除き、弊社の責に帰すべからざる事由から契約者および利用者に生じた損害、弊社の予見の有無にかかわらず、特別の事情から生じた損害、逸失利益、および第三者からの損害賠償請求に基づく契約者および利用者の損害その他の損害については責任を負わないものとします。
3. 第一種電気通信事業者または他の電気通信事業者の責に帰すべき事由により、契約者および利用者が損害を被り、弊社に損害賠償請求した場合は、弊社は、かかる事由により当該第一種電気通信事業者または他の電気通信事業者から弊社が受領した当該請求に関する損害賠償額を限度としてかかる損害賠償請求に応じるものとします。
4. 前項において、賠償の対象となる契約者および利用者が複数ある場合、契約者および利用者への賠償金額の合計が弊社が受領する損害賠償額を超えるときの各契約者および利用者への賠償金額は、賠償の対象となる契約者および利用者、弊社の間で協議の上決定するものと

します。

5. 本条第１項の定めにかかわらず、天災、地変、戦争、内乱、その他の不可抗力、本サービスが利用するクラウドコンピューティングサービス事業者のサービス停止、もしくは、サービス遅滞により、本サービスを提供できなかったときは、弊社は一切その責を負わないものとします。
6. 弊社は、事由の如何にかかわらず、利用者が本サービス用設備のファイルに書き込んだ情報の消滅および消滅したことに起因して契約者および利用者に損害が生じたとしても、一切責任を負わないものとします。
7. 契約者および利用者が本サービスの利用に関連して、弊社または第三者に損害を及ぼした場合、契約者および利用者は、弊社または当該第三者に対し、かかる損害を賠償するものとします。ただし、契約者および利用者の責に帰すべきでない事由による場合を除くものとします。
8. 契約者および利用者は、本サービスの利用に関連し、他の利用者または第三者に対して損害を与えたものとして、他の利用者または第三者から何らかの請求がなされ、または訴訟が提起された場合、当該利用者の属する契約者は、自らの費用と責任において当該請求または訴訟を解決するものとし、弊社は一切の責任を負わないものとします。
9. 弊社は、契約者および利用者に対し、以下の各号に該当する損害の責任ならびに以下の各号に付随する二次的なデータの漏洩、損失、損害にかかる責任を負わないものとします。

   (1)弊社が提供していないプログラムによって生じる損害

   (2)弊社以外の第三者による不正な行為によって生じる損害

   (3)ハッカーおよびクラッカーによるサーバーへの侵入又は攻撃等の行為による損害

   (4)弊社が善良な管理者の注意をもって業務を行ったにもかかわらず発生した本サービスのバグによって生じる損害

第 30 条(損害賠償)

本契約の履行に際し、弊社が契約者および利用者に対する損害賠償義務を負う場合、弊社は契約者および利用者に現実に生じた通常の直接損害に対して、契約者および利用者が弊社に支払った１年間の本サービスの利用料金を限度額として責任を負うものとします。弊社は弊社の予見の有無を問わず、契約者および利用者の逸失利益および間接損害等の特別の事情により生じた損害については、契約者および利用者に対する賠償責任を負わないものとします。ただし、弊社の故意または重過失に基づく損害についてはこの限りではありません。有償である本サービスの利用が無い場合、弊社は契約者および利用者に対して一切の責任を負わないものとします。

第 31 条(秘密保持)

弊社は、本サービスの提供に関して知り得た契約者および利用者の秘密情報を第三者に漏洩しないものとします。ただし、契約者および利用者から事前の書面による承諾を得たうえで開示する場合、および法令の定めるところにより、国または地方公共団体から義務により開示を求められた場合はこの限りではありません。

第 32 条(個人情報の取り扱い)

弊社は、本サービスの提供等に伴って利用者より提供を受けた個人情報について、弊社が定める個人情報保護方針(セキュリティポリシー)(https://www.techmatrix.co.jp/company/privacy_policy.html)に則って取り扱うとともに、個人情報の保護に関する法律、個人情報保護に関するガイドライン等の指針、その他個人情報保護に関する関係法令を遵守します。

第 33 条(分離性)

本規約のいずれかの条項が無効とされた場合であっても、本規約の他の条項は、継続して完全な効力を有するものとします。

第 34 条(準拠法)

本規約の成立、効力、解釈および履行については、日本国法に準拠するものとします。

第 35 条(紛争の解決)

1. 本サービスに関連して契約者および利用者と弊社との間で問題が生じた場合には、契約者と弊社で誠意をもって協議し解決するものとします。
2. 協議による解決を図ることができない場合、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

附則

本規約は 2022 年 7 月 28 日実施します。

別表 1 本サービスの種類

種類	内容
テクマトリックス Redmine クラウドサービス	プロジェクト管理 Web アプリケーション、Redmine、株式会社アジャイルウェアが開発し弊社が提供する、Lychee Redmine、テクマトリックス Redmine クラウドにインストールされている無償の Redmine プラグインのホスティングサービス

別表 2 ストレージ容量

1 契約あたりのストレージ容量上限
200GB
200GB を超えるストレージ容量の利用については、別途、契約するものとする。

テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)利用規約

テクマトリックス株式会社(以下「弊社」といいます)は、「テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)」(以下「本サービス」といいます)に関して、以下の通り規約(以下「本規約」といいます)を定めます。

第一章　総則

第 1 条(規約の適用)

本規約は、本サービスを評価・試用の目的としての利用に関し、本サービスの利用者に適用されるものとします。

第 2 条(規約の変更)

弊社は、本規約を変更できるものとします。

第 3 条(定義)

本規約においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

1. テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)：プロジェクト管理 Web アプリケーション Redmine、および、ファーエンドテクノロジー株式会社が開発した Redmine 互換の RedMica、ならびに、株式会社アジャイルウェアが開発し、弊社が提供する Lychee Redmine の評価・試用を目的として、テクマトリックスが管理・運営するクラウド環境で提供するサービスを指します。
2. 申込者は、テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)の利用を申し込んだものを指します。
3. 利用者は、テクマトリックス Redmine クラウドサービス(評価用)を利用するものを指します。

第 4 条(Redmine の利用)

1. 申込者および利用者は、Redmine および Lychee Redmine を Web サイト上のサービスとして使用する限定的、非独占的、譲渡不可、サブライセンス不可の権利が付与されます。
2. 本サービスで提供される画像、文章等の知的財産権ならびに著作権は、それぞれの提供元に帰属します。利用者の有する権利は、前項のみであり、本サービスで提供される画像、文章等の提供元、ならびに弊社の他の知的財産に対する権利は付与されません。これは、利用者が本サービスで提供されるもののコピーを作成する権利を持たないことを意味します。また、利用者は、プログラムコードを他の形式のコードに変換(逆コンパイル)したり、本サービスで提供されるものを解析しソースコードを明らかにする(リバースエンジニアリング)することは認められていません。
3. 申込者および利用者は、本サービスで提供されるものの著作権表示、シリアル番号、その他の機能を削除または変更することは認められていません。
4. 本サービスの利用期間中、本サービスに保存した情報に対する申込者および利用者の所有権が失われることはありません。申込者および利用者が、本契約に従わない場合および本サービスの契約が終了した場合は、弊社は当該情報を削除することができるものとします。
5. 本サービスで利用できるストレージ容量は、1 サブドメインあたり 10GB です。

第二章　サービスの種類

第 5 条(本サービスの種類および内容等)

1. 本サービスの種類は、別表 1 記載の通りとします。
2. 弊社は、事由の如何を問わず、本サービスの内容の一部または全部の変更、追加および廃止をすることができます。

第 6 条(提供区域および利用可能時間)

本サービスの利用可能時間は、全日 0 時から 24 時までとします。ただし、第 13 条(サービス提供の停止)に定める場合および第 14 条(サービス提供の終了)に定める場合を除くものとします。

第三章　契約

第 7 条(利用契約の方法)

1. 本サービスは、本サービスの申込者および申込者と同一企業あるいはプロジェクトに所属する者のみが利用することができるものとします。
2. 申込者が本サービスの利用を行う場合、本規約の内容を確認し、承諾した上で、弊社に申し込むものとします。
3. 弊社は、申し込みの受領後、速やかに申し込みの審査を行い、申し込みを承諾する場合、申込者に対して、電子メールにて利用開始の通知を行います。利用開始の通知を以って利用契約が成立したものとします。尚、利用契約の成立は、利用開始通知メールが送信された日とします。
4. 申込者は、本規約を利用者に遵守させ、万一利用者が本規約に違反した場合、弊社は、申込者に催告することなく直ちに利用契約を解約することができるものとします。

第 8 条(利用契約期間)

本サービスの利用契約期間は、利用開始通知メールに記載された利用開始日から 30 日間とします。

第 9 条(利用契約の変更)

本サービス利用契約期間中、申込者ならびに利用者は本サービスの利用契約内容の変更を行うことはできません。

第 10 条(サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの管理)

1. 申込者および利用者は、サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの第三者利用、貸与、譲渡、名義変更、売買、質入、開示等をしてはならないものとします。
2. サブドメイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等による損害の責任は申込者および利用者が負うものとし、弊社は一切責任を負いません。

第 11 条(権利の譲渡等の禁止)

申込者および利用者は、本サービスの提供を受ける権利を第三者に譲渡し、又は承継させることができません。

第 12 条(弊社が行う契約の解約)

申込者および利用者が以下の各号の一に該当する場合、弊社は、事前に催告することなく、直ちに当該申込者および利用者の利用資格を取消し、利用契約を解約することができるものとします。

(1) 第 16 条(禁止事項)の行為を行った場合

(2) 弊社への申告、届出内容に虚偽があった場合

(3) 第 14 条(サービス提供の終了)の規定により本サービスの利用停止をされた契約者が、その事実を解消しない場合

(4) その他、本規約に違反した場合

(5) その他、契約者および利用者として不適切と弊社が判断した場合

(6) 契約者が法人の場合で次の各号に該当する場合

(ｱ) 実際に従業員、事務所等が存在せず、業務が停止していると認められるとき

(ｲ) 監督庁より営業の取り消し、又は停止等の処分を受けたとき

(ｳ) 手形・小切手が不渡りになったとき

(ｴ) 破産、民事再生又は会社更生法の申し立てがあったとき

(オ) 財産状況が悪化し、又はその恐れが認められる相当の理由があるとき

(カ) 解散又は事業が廃止になったとき

第四章　利用中止および利用停止

第 13 条(サービス提供の停止)

1. 弊社は、次の場合には、本サービスの提供を停止することがあります。
   (1) 弊社のシステム保守を定期的に又は緊急に行う場合
   (2) 弊社の本サービス用設備の保守上又は工事上やむを得ない場合
   (3) 天災、事変、その他の非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合
   (4) 弊社が設置する電気通信設備の障害その他やむを得ない事由が生じた場合
   (5) 弊社が本サービスの運用の全部又は一部を停止することが望ましいと判断した場合
2. 弊社は前項に基づく本サービスの提供の停止によって生じた申込者、利用者および第三者の損害につき一切責任を負いません。
3. 弊社は、第 1 項の規定により本サービスの利用を停止するときは、あらかじめその旨を申込者に通知します。ただし、緊急または、やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 14 条(サービス提供の終了)

1. 弊社は、申込者および利用者が次のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供を終了します。
   (1) 利用期間が満了した場合
   (2) 第 16 条(禁止事項)に記載される行為を行った場合
   (3) その他、本規約に違反した場合
   (4) その他、弊社が不適当と判断する行為を行った場合
2. 弊社は、前項の規定により本サービスの提供を終了するときは、あらかじめその理由、終了日を申込者に通知します。ただし、緊急または、やむを得ない場合は、この限りではありません。

第五章　利用者の注意

第 15 条(申込者および利用者の責任)

1. 申込者および利用者は、本規約、別に定める特約およびその他弊社が随時通知する内容に従い、本サービスを利用するものとします。
2. 申込者および利用者は、本サービスを通じて発信又は受信する情報につき一切の責任を負うものとし、弊社に何等の迷惑又は損害を与えないものとします。
3. 本サービスの利用に関連して、申込者および利用者が他の利用者もしくは第三者に対して損害を与えた場合、あるいは、申込者および利用者が他の利用者もしくは第三者と紛争が生じた場合、当該申込者または利用者は自己の費用と責任で解決するものとし、弊社に何等の迷惑又は損害を与えないものとします。

第 16 条(禁止事項)

申込者および利用者は、本サービスの利用に当たって次の各号に定める行為を行ってはならないものとします。

(1) 本契約に違反する行為
(2) 評価版のストレージ容量制限である 1 サブドメインあたり 10GB を超えるデータを格納し、弊社のデータ削除催告に従わない場合
(3) 他の利用者、第三者もしくは弊社の知的財産権、その他の権利を侵害する行為、また侵害するおそれのある行為
(4) 他の利用者、第三者もしくは弊社の財産もしくはプライバシーを侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
(5) 他の利用者、第三者もしくは弊社に不利益もしくは損害を与える行為、またはそれらのおそれのある行為

(6) 犯罪的行為もしくは犯罪的行為に結びつく行為、またはそのおそれのある行為

(7) 本サービスを、第三者に対する研修、商用タイムシェアリング、または有償目的で使用する行為

(8) 本サービスの運営を妨げる行為

(9) 本サービスの信用を失墜させる行為

(10)サブドメイン名、ログイン名、ログイン名(メールアドレス)およびパスワードを不正に使用する行為

(11)コンピューターウィルス等有害なプログラムを本サービスを通じて、または本サービスに関連して使用、もしくは提供する行為、チェーンメール・スパムメール等の送信を目的とする行為、ならびに本サービスに著しく負荷のかかる行為

(12)無限連鎖講・ネットワークビジネス等の勧誘行為、ならびに個人情報の収集行為

(13)差別・誹謗中傷、名誉又は信用の毀損につながる行為、ならびに人種的・民族的・宗教的に不快感を与える行為

(14)その他、法令に違反する、または違反するおそれのある行為

(15)その他、弊社が不適切と判断する行為

第 17 条(設備等の準備)

申込者および利用者は、通信機器、ソフトウエア、その他これらに付随して必要となる全ての機器の準備および回線利用契約の締結、インターネット接続サービスへの加入、その他、本サービスを利用するために必要な準備を、自己の費用と責任において行うものとします。

第 18 条(情報の削除)

1. 弊社は、申込者および利用者が本サービスに保存した情報等が、次の各号に該当すると判断した場合、申込者に事前通知するとともに、当該情報を削除することができるものとします。

(1) 第 16 条(禁止事項)の各号の禁止行為を行った場合

(2) 本サービスの保守管理上必要であると弊社が判断した場合

(3) その他、弊社が削除の必要があると判断した場合

2. 前項の規定にかかわらず、弊社は、情報等の削除義務を負うものではありません。
3. 弊社は、本条の規定に従い情報等を削除したこと、又は情報等を削除しなかったこと、又は情報等を削除しなかったことにより申込者、利用者又は第三者に発生した損害について一切責任を負いません。

第 19 条(情報の管理)

1. 弊社は本サービスの内容、および申込者または利用者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等いかなる保証も行いません。
2. 本サービスの提供、遅滞、変更、中止もしくは廃止、本サービスを通じて登録、提供される情報等の流出もしくは消失等、又はその他本サービスに関連して発生した申込者および利用者の損害について、弊社は本規約にて明示的に定める以外一切責任を負いません。

第 20 条(情報の利用)

弊社は、本サービスに関し契約者および利用者が本サービスに登録した情報(個人情報を含みます。)を、本サービスの適切な運用および改善のため利用するほか、特定の個人を識別できないよう加工したうえで弊社の新規サービス・製品の開発のためのデータ分析のために必要な範囲で使用する場合があります。申込者および利用者は、弊社によるこれらの使用を許諾するものとします。なお、個人情報については、弊社の個人情報保護方針(セキュリティポリシー)に則って取り扱うものとします。

第六章　雑則

第 21 条(責任)

弊社は、事由の如何にかかわらず、申込者および利用者が本サービスを利用できないために、あるいは、利用したために生じた損害、

逸失利益、および第三者からの損害賠償請求に基づく申込者および利用者の損害その他の損害について、一切の責任を負わないものとします。

第 22 条(秘密保持)

弊社は、本サービスの提供に関して知り得た申込者および利用者の秘密情報を第三者に漏洩しないものとします。ただし、申込者および利用者から事前の書面による承諾を得たうえで開示する場合、および法令の定めるところにより、国又は地方公共団体から義務により開示を求められた場合はこの限りではありません。

第 23 条(個人情報の取り扱い)

弊社は、本サービスの提供等に伴って利用者より提供を受けた個人情報について、弊社が定める個人情報保護方針(セキュリティポリシー)(https://www.techmatrix.co.jp/company/privacy_policy.html)に則って取り扱うとともに、個人情報の保護に関する法律、個人情報保護に関するガイドライン等の指針、その他個人情報保護に関する関係法令を遵守します。

第 24 条(分離性)

本規約のいずれかの条項が無効とされた場合であっても、本規約の他の条項は、継続して完全な効力を有するものとします。

第 25 条(準拠法)

本規約の成立、効力、解釈および履行については、日本国法に準拠するものとします。

第 26 条(紛争の解決)

1. 本サービスに関連して申込者および利用者と弊社との間で問題が生じた場合には、申込者および利用者と弊社で誠意をもって協議し解決するものとします。
2. 協議による解決を図ることができない場合、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

附則

本規約は 2022 年 5 月 30 日実施します。

別表 1 本サービスの種類

種類
テクマトリックス Redmine クラウドサービス